

「公益信託ENEOS水素基金」2016年度 助成対象者の決定について

～水素エネルギーによるサステナブルな社会の実現に向けて～

記者各位

当社(社長:杉森 務)は、当社が設立した「公益信託ENEOS水素基金(運営委員長:堂免一成 東京大学工学系研究科教授、受託者:三井住友信託銀行)」の2016年度助成対象者を次の6名に決定したことをお知らせいたします。

(敬称略)

宮崎 晃平 (みやざき こうへい)	京都大学大学院地球環境学堂 助教
山田 裕介 (やまだ ゆうすけ)	大阪市立大学大学院工学研究科 教授
兵頭 健生 (ひょうどう たけお)	長崎大学大学院工学研究科 准教授
藤田 健一 (ふじた けんいち)	京都大学大学院人間・環境学研究科 教授
清水 研一 (しみず けんいち)	北海道大学触媒科学研究所 教授
江 東林 (ちゃん どんりん)	北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科 教授

当社は、水素エネルギー社会の早期実現に貢献することを目的に、2006年3月に本基金を創設しました。本基金は、水素エネルギー供給に関する研究助成に特化した公益信託としては我が国初のものであり、水素エネルギー供給に関する「独創的かつ先導的な基礎研究」に対し、年間総額5千万円(1件あたりの上限1千万円)の研究助成金を約30年間にわたり安定的に交付することが可能な規模を有しています。

本年度は、70件の応募の中から、本基金の運営委員会による厳正な審査を経て、上記助成対象者を決定しました。また、研究助成金贈呈式は11月7日(月)に開催予定です。

当社は、JXグループが経営理念に掲げる行動指針「新しい発想」、「地球環境との調和」のもと、今後も本基金を通じて、水素エネルギーによるサステナブルな社会の実現を目指してまいります。

以上

● 別添資料

 [2016年度 助成対象者および研究テーマ](#) (PDF:97.8 KB/1ページ)

 [「公益信託ENEOS水素基金」の概要](#) (PDF:101.1 KB/1ページ)